

ICT機器を活用した鑑賞

～美術作品の鑑賞活動をととした主体的・対話的で深い学び～

取組の 難易度	(準備) ★ ☆ ☆	教科等	美術
	(教員のICT活用能力) ★ ☆ ☆		
校種・学年	中学校・全学年	領域・ 分野等	B鑑賞
ICTを活用した 学習場面	A1 教員による教材の提示 B2 調査活動 C1 発表や話し合い C2 協働での意見整理		
ICT機器等の 準備等	準備	① 指導者用 PC ② 学習者用 PC ③ Google フォームで行った事前アンケート集計結果	
	授業	大型モニター (スクリーン・プロジェクター)	

1 事例の概要

鑑賞の活動を通して美術作品や、作者の生涯について理解し、作者の心情や表現の意図などについて考えられるようにするためICTを活用する。諸外国の美術作品を大型モニターや学習者用PCに示すことで、自由に鑑賞できるようにするとともに、生徒の多様な考えを共有するためGoogleフォームのアンケート機能を活用する。

※利点○、配慮事項●

2 ICT活用の利点や配慮事項

- ICTのアンケート機能を活用することで、短時間で回答を共有することができる。
- 他の鑑賞の活動にも応用できる。
- 学習者用PCを活用した鑑賞は、個に応じた鑑賞することができる。
- 著作権に対する理解と配慮が必要である。

3 資料

1 Googleフォームの活用について

Googleフォームを活用することで、生徒の意見や考えを瞬時に集計することができる。鑑賞の活動の導入等において、アンケートやクイズを行うことは、鑑賞する対象である作品や作者への興味・関心を高める効果も期待できる。

学校や生徒の実態に応じて鑑賞作品を設定することが大切であり、生徒が鑑賞の活動を主体的に行えるような授業づくりのために効果的なICTの活用が期待される。

※Googleフォームは、インターネット上でアンケートや投票、テストなどが行える機能。

2 活用例

Google フォームのアンケート機能を活用して事前のアンケートを行う。鑑賞する作品や作者について、集計結果を基に生徒たちの感想を共有する。

(例：ピカソについて、知っていること等)

導入において、学習者用PCに指導者用デジタル教科書「美術2・3（開隆堂）」を用いてピカソの絵画「ゲルニカ」の図版を転送し、作品を鑑賞しながら簡単な4択の質問をGoogleフォームのアンケート機能を活用し集計する。

生徒からの回答を瞬時に集計することができる。

生徒は、集計結果を大型デジタルモニターで示されることで、全体の回答を把握することができる。

【アンケートの質問例】

Q 1. A 「ゲルニカ」はどれくらいの大きさでしょうか。

①約1m×1.5m ②約2m×2.5m ③約3m×5m ④約3m×7m

Q 2. 完成までの制作日数はどのくらいでしょうか。

①1か月 ②3か月 ③半年 ④1年

Q 3. 「ゲルニカ」から何を感じますか。

①喜び ②怒り ③悲しみ ④その他（記述式）

※ 教師用デジタル教科書の図版等を学習者用PCにメール、クラウド上で送信することは、公衆送信に当たり補償金を支払う必要がある。

事前に授業目的公衆送信保証金制度について確認を行う必要。

(参考：「文化省 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/92169601>.)

3 アンケート作成の手順について

埼玉県立総合教育センターホームページ参照

(<https://www.center.spec.ed.jp/>埼玉県立総合教育センター

/家庭学習支援サイトトップページ/-suite-for-education-活用マニュアル)

【参考】

